

令和2年度第2回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会

日時 2020年7月2日（木）

政策会議終了後

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

(1) 前回会議の開催結果について（資料1）

(2) 総合指針改定委員会の再開及びリスケジュールについて（資料2-1, 2-2）

(3) 令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングの実施について（資料3）

(4) 政策・施策に関する評価について（資料4）

(5) その他

3 閉会

（事務局 企画政策部企画政策課 内線2175）

議事録

令和2年度第1回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会を次のとおり開催した。

会議名	令和2年度第1回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会
開催日	2020年（令和2年）4月9日（木）8：49～8：56
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長，和田副市長，宮治副市長，岩本教育長 （構成員） 総務部長，企画政策部長，財務部長，防災安全部長，市民自治部長，生涯学習部長，福祉健康部長，保健所長，子ども青少年部長，環境部長，経済部長，計画建築部長，都市整備部長，道路河川部長，下水道部長，市民病院事務局長，消防局長，教育次長，教育部長（欠席），議会事務局長，監査事務局長，農業委員会事務局長，選挙管理委員会事務局長
議 事	1 議題 （1）市議会議員全員協議会（2020年3月6日）への報告について （2）令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングの延期について （3）その他
内 容	1 開会 □鈴木市長あいさつ 今年度第1回目の藤沢市市政運営の総合指針改定委員会となる。国の「緊急事態宣言」を受け、会議の内容を変更するなど、改定スケジュールについても見直しが必要となってくるかと思うので調整をお願いしたい。いずれにしても2040年以降の時代を視野に入れながら指針を改定していくので、協力をお願いしたい。 □企画政策部長補足説明 市長から話があったとおり、第1回目の改定委員会ではあるが、国の「緊急事態宣言」を受け、会議の内容を急きょ変更している。改定作業のスケジュールも今後見直す予定である。 2 議題 （1）市議会議員全員協議会（2020年3月6日）への報告について （説明者：企画政策部長） □企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 2020年3月6日の市議会議員全員協議会で報告した資料及び主な質疑内容を確認いただくもの。

<p>内 容</p>	<p> <主な意見等> なし <結果> 了承。 </p> <p> (2) 令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングの延期について (説明者：企画政策部長) </p> <p> <input type="checkbox"/> 企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。 </p> <p> <内容> 4月に行う予定であった令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び総合指針に関する理事者ヒアリングの延期に伴い、提出資料等の締め切りについて説明するもの。 </p> <p> <主な意見等> なし。 </p> <p> <結果> 了承。 </p> <p> (3) その他 </p> <p> <input type="checkbox"/> 企画政策部長補足説明 当初予定していた、指針改定のための中堅職員によるプロジェクトチーム（専門部会）への庁内各課からの推薦については、コロナウイルス対策を優先し、延期とする。 </p> <p> <主な意見等> なし。 </p> <p> <結果> 了承。 </p> <p>3 閉会</p>
------------	--

総合指針改定委員会の再開及びリスケジュールについて

5月25日に国の非常事態宣言が解除され、市議会6月定例会も終了したことから、新型コロナウイルス感染症対策の状況を注視しつつ、市政運営の総合指針改定委員会を次のとおり再開させていただきます。

1 4月以降の改定事務の状況

(1) 総合指針改定委員会の開催延期

4月9日に第1回委員会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症対策を優先するため、当面の間、改定のための検討作業を延期することとし、これまで第2回以降の開催は見送ってきました。

また、4月下旬に予定していた各部局の政策課題と総合指針に関する理事者ヒアリングは延期してきました。

(2) 中堅職員で構成するプロジェクトチームによる検討の延期

業務継続計画の発動を踏まえ、チーム設置を見送ってきました。

(3) 市議会への検討状況報告について

上記の状況を踏まえ、6月定例会会期中の議員全員協議会開催依頼を見送り、9月定例会会期中に検討状況を報告する方向で検討しています。

2 政策課題と総合指針に関する理事者ヒアリングについて（依頼事項）

総合指針改定委員会の再開に先立ち、6月12日付けの「令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングの実施について（通知）」（総合指針改定委員会資料3）で対応を依頼させていただきました。すでに、資料作成済の部もあることから、書式等、依頼内容は変更せず7月下旬の理事者ヒアリング実施をお願いしています。

長期課題に関する資料の作成・見直しに当たっては、市議会6月定例会でご意見のあった「ウイズコロナ・アフターコロナ」など、新型コロナウイルス感染症による社会や生活の様々な変化への対応を再検討し、デジタル市役所の実現に向けた取組の前倒しなど、加速すべき取組等の追加をお願いいたします。

3 中堅職員で構成するプロジェクトチームによる検討の再延期について

業務継続計画の発動継続を踏まえ、チーム設置を引き続き見送ります。

4 リスケジュールに当たっての基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の影響により、改定作業に遅れが生じていますが、検討の省力化を図りつつ、年度内の改定に向けて、改定作業を進めます。

今後の感染再拡大や広聴等の実施状況により、年度内の全面改定が難しい場合であっても、地域経済対策をはじめ、喫緊の重要課題である新型コロナウイルス感染症に関する対策や東京2020大会の延期などに対応するため、年度内に必要な改定を行いたいと考えています。新たな総合指針における重点施策の決定や重点事業の指定に当たっては、「2021年の東京2020大会開催の見通しを踏まえる必要があること」、「令和2年度中に中期の財政状況が見通せない状況になったこと」、「第3次公共施設再整備プランの策定内容と整合を図る必要があること」なども考慮し、柔軟に検討を進めます。

新型コロナウイルス感染症は、本市の財政に対しても今後数年間に渡り大きな影響を及ぼすものと考えられるため、事業の優先順位付けや事業実施方法の見直しについては、今後の財政状況の変化を注視しながら、令和3年度当初予算編成に合わせて検討を進めます。

5 市政運営の総合指針2020改定作業のリスケジュール（案）

総合指針改定委員会資料2-2のとおり

6 総合指針改定委員会の予定

- (1) 7月16日（木）第3回総合指針改定委員会会議（政策会議終了後）
【主な予定議題】20年後の理想の藤沢についてのアンケート結果報告
- (2) 7月30日（木）第4回総合指針改定委員会会議（政策会議終了後）
【主な予定議題】基本方針改定の方向性について
【検討依頼予定】7月下旬の理事者ヒアリング結果に基づく基本方針（基本目標等）素案の検討等
- (3) 8月20日（木）第5回総合指針改定委員会会議（政策会議終了後）
【主な予定議題】基本方針（基本目標等）素案について
【検討依頼予定】基本方針素案（基本目標等）についての修正検討等
- (4) 9月1日（火）第6回総合指針改定委員会会議（幹部会議終了後）
【主な予定議題】議会報告内容について等
 - ・ 検討状況と今後の予定（政策課題・長期課題検討含む）
 - ・ 基本方針素案
 - ・ 市民意識調査経年変化、2020重点事業の進捗評価
 - ・ 20年後の理想の藤沢に関するアンケート結果 ほか
【検討依頼予定】議会報告内容の最終確認等

以上

市政運営の総合指針2020改定作業のリスケジュール(案)

※総合指針の改定に合わせた地方版総合戦略の改定, SDGs推進方針の策定

※「第3次藤沢市公共施設再整備プラン策定」, 「行財政改革2020基本方針の改定」, 「中期財政見通し」との整合性

2020年7月2日
総合指針改定委員会資料2-2

		2020年度(令和2年度)																
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
市議会				(見送り)			●全協(基本方針素案)			●全協(基本方針素案・重点方針素案)		●全協(最終案)	●(議案:基本方針)					
改定委員会	4/9 ① 総合指針庁内改定委員会(原則政策会議終了後)				7/2 ②	7/16 ③	7/30 ④	8/20 ⑤	9/1(追加開催) ⑥	10/15 ⑦	10/29 ⑧	11/12 ⑨	(追加開催) 12/24 ⑩	1/7 ⑪	1/21 ⑫	(追加開催) ⑬	⑭	
策定段階 (予算編成)	課題の抽出と整理																	
	基本方針素案・案の作成																	
	重点方針素案・案の作成																	
	暫定重点事業の選定																	
	(予算本要求) (予算重点化事業候補選定) (予算重点化事業選定) (予算原案確定・理事者調整)																	
【政策課題】 市長公約 市議会意見 政策課題 (短期・中長期)	各部署政策課題等の抽出と整理			政策課題・長期課題 理事者ヒアリング			基本方針作成に向けた検討・反映			各部理事者ヒアリング(オータムレビュー)			重点方針作成に向けた検討・反映及び重点事業の検討・反映					
【分析・評価】 市民意識調査	市民意識調査によるめざす都市像・基本目標・重点施策等評価(経年変化)						市民意識調査と総合指針改定に関するアンケートを合体して実施(対象を5000件に拡大)											
事務事業評価	事務事業評価シート作成(重点事業)			重点事業進捗状況 (再掲)理事者ヒアリング			★決算特別委員会審査			(行財協)			(行財協)					
外部識者	7/17行財協																	
【広聴】 市民意見	20年後の理想の藤沢に関するアンケート分析(2019年秋実施アンケート結果)						(再掲)市民意識調査と総合指針改定に関するアンケートを合体して実施(対象を5000件に拡大)											
地域意見							(仮称)#ふじキュン課未来の藤沢市長 意見募集											
各分野別 団体意見							市民ワークショップの開催(未調整・実施未定)											
							パブコメ(基本方針素案)											
							パブコメ(基本方針素案・重点方針素案)											
							地域まちづくり事業の検討及び予算要求											
							郷土づくり推進会議定例会・地区全体集會等での説明・意見募集(未調整)											
							各分野別団体からのご意見(未調整)											
地方版 総合戦略	総合指針の改定に合わせ地方版総合戦略改定の検討																	
	●全協(改定案)																	
SDGs 推進	総合指針基本方針・重点方針の検討にSDGsの視点を取り入れて検討(※予算・体制の検討含む) 並行して, SDGs推進方針策定の検討																	
	職員Eラーニング																	
	●全協(SDGs推進方針案)																	
公共施設 再整備 プラン	プラン検討		5/7 政策会議報告		7/13 公共資産等活用等検討委員会				公共資産等活用等検討委員会				公共資産等活用等検討委員会		★特別委員会(3次プラン暫定版)		※4月以降 3次プラン確定版策定	
行財政改革	調整中																	

2020年6月12日

各部局長

企画政策部長

令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング

及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングの実施について（通知）

このことについては、新型コロナウイルス感染症対応のため4月から延期になっていた、令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリングを実施します。

あわせて、「藤沢市市政運営の総合指針2020」重点事業の進捗状況と次期市政運営の総合指針策定に向けた長期課題についても理事者ヒアリングを行いますので、ご対応をお願いいたします。

1 実施方法

別紙「令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリング実施要領」のとおり

以 上

（事務担当 企画政策部企画政策課 内2175）

令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング
及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリング実施要領

1 目的

令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリングについては、各部署の政策課題等を明確化し、課題等へのこれまでの取組状況や懸案事項等を整理し、令和2年度の取組内容と、令和3年度以降の取組について意見交換等を行い、もって、事業の円滑な実施及び施策の確実な推進を図ることを目的として実施します。

あわせて、市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングについては、重点事業の進捗状況を確認するとともに、令和2年度の総合指針改定作業の一環として、各部署の長期課題について理事者との共有を図ることを目的として実施します。

2 実施日時

別紙資料1「令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリング 日程」のとおり

3 実施手順

次のとおり実施します。

(1) 令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリングに使用する資料の提出

ア 資料等の作成及び提出期限

(ア) 政策課題一覧表

4月に提出いただいた政策課題一覧に修正・変更がある場合は提出してください。

(イ) 議題とする課題項目に関する資料

政策課題ヒアリングの議題とする課題項目に関する説明資料については、適宜、任意様式（原則としてA3横（A4縦×2も可）かA4縦）で用意し、理事者ヒアリングの前々日（土日除く2日前）までに提出してください。資料は、事務引継資料を活用するなど、簡潔な資料とし、資料作成が負担にならないよう工夫してください。

イ 提出方法

総務課取りまとめの上、職員ポータルメールで、企画政策課代表メール宛てに送付してください（カラー印刷の図面等を用いる場合は、紙ベースで20部提出）。

(2) 市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングに使用する資料の提出

ア 資料の作成

「市政運営の総合指針2020重点事業進捗状況調査表」(別紙資料2)と「次期市政運営の総合指針策定に向けた長期課題調査表」(別紙資料3)を作成し、提出してください。長期課題調査表については、昨年度に作成いただいた中長期課題調査表を参考にしてください。

※重点事業進捗状況調査表は、企画政策課から各総務課へ送付するものを修正して提出してください。(基準日：2020年7月1日)

イ 提出期限

理事者ヒアリング実施日の前々日(土日除く2日前)まで

ウ 提出方法

総務課取りまとめの上、職員ポータルメールで、企画政策課代表メール宛てに送付してください。

(3) 理事者ヒアリングの実施方法

ア 各部局長は、議題とする政策課題項目に関して、想定される問題点、懸案事項を踏まえた令和2年度の取組内容、令和3年度以降の取組の方向性及び令和3年度に新規・拡充を予定している事業等について、概ね10分以内で簡潔に説明してください。

政策課題において、特に確認、調整を要する内容については、部としての考え方を示した上で、理事者からの意見を求めてください。

なお、事業の新規・拡充、事業見直しについては、本要求への反映を行うことを前提とします。

イ 市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリングについては、まず、重点事業進捗状況調査表(別紙資料2)に基づき、進捗状況に「課題あり」の事業について、5分以内で簡潔に説明してください。次に、長期課題調査表(別紙資料3)に基づき、総合指針改定に向けて、重要な課題と捉えている内容について簡潔に説明してください。説明ごとに、理事者との質疑応答、意見交換を行います。

ウ 出席者の構成

理事者、関係部(部長等、総務課長、所管課長等)、総務部、企画政策部、財務部

※新型コロナウイルス感染症対策のため、最小限の出席者になるようご配慮ください。

以 上

令和2年度政策課題等に関する理事者ヒアリング
及び市政運営の総合指針に関する理事者ヒアリング 日程

日 程			部局名等
7月21日(火) (6-1会議室)	8:30 ~ 9:20	50分	福祉健康部(保健所除く)
	9:20 ~ 10:10	50分	福祉健康部 保健所
	10:20 ~ 11:10	50分	子ども青少年部
	11:10 ~ 12:00	50分	防災安全部
	13:10 ~ 14:00	50分	消防局
	14:00 ~ 14:50	50分	総務部
	15:00 ~ 15:50	50分	(予備)
	15:50 ~ 16:40	50分	(予備)
7月22日(水) (6-1会議室)	10:20 ~ 11:10	50分	計画建築部
	11:10 ~ 12:00	50分	都市整備部
	13:10 ~ 14:00	50分	道路河川部
	14:00 ~ 14:50	50分	生涯学習部
7月27日(月) (6-1会議室)	8:30 ~ 9:20	50分	財務部
	9:20 ~ 10:10	50分	市民自治部
	10:20 ~ 11:10	50分	市民病院
	11:10 ~ 12:00	50分	経済部
7月27日(月) (災害対策本部室)	13:10 ~ 14:00	50分	教育部
7月28日(火) (災害対策本部室)	9:20 ~ 10:10	50分	企画政策部
	10:20 ~ 11:10	50分	下水道部
	11:10 ~ 12:00	50分	環境部
7月29日(水) (6-1会議室)	13:10 ~ 14:00	50分	(予備)
	14:00 ~ 14:50	50分	(予備)

* 各部の持ち時間は原則50分です。

* ヒアリングの進行状況により時間が前後することがあります。

* 説明は簡潔に行い、質疑や意見交換の時間を確保してください。

* やむを得ず日程を変更する場合は、希望する時間帯の部と調整の上、結果を企画政策課に報告してください。

(事務担当 企画政策部企画政策課)

市政運営の総合指針 2020 重点事業進捗状況調査表（2020年7月現在）

No.	重点事業（事務事業）名	所管部等	事業費（千円）				予算編成区分	指針期間（平成29～令和2年度）の取組内容 （数値目標がある場合は、数値目標を記載）	指針期間 （H29～R2）の取組目標に対する事業の進捗状況	事業進捗の具体的な内容及び課題	市民意識調査の結果 （令和元年度調査） 事務事業評価シート 記載の項目	評点 （5点満点）
			29年度 予算額	30年度 予算額	31年度 予算額	R2予算 予算額						
まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する												
(1) 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援												
14	都市親善費	企画政策部	4,156	3,181	5,660		政策的事業費 東京2020大会開催を契機として、国内外の姉妹友好都市を「湘南藤沢市民マラソン」へ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図るもの。また、市民に対し、本市の姉妹友好都市を周知し、本市ならではのホスピタリティの醸成に寄与するとともに、国際感覚を養うもの。	概ね計画どおり	平成29年度、平成30年度には、姉妹友好都市を「湘南藤沢市民マラソン」へ招待し、大会前後の行事を通じ、地域文化の発信とともに、スポーツ交流・市民交流を行い、友好親善の推進を図った。 令和元年度は、「セーリング・ワールドカップシリーズ」と「湘南藤沢市民マラソン」の両方へ招待する予定である。令和2年度は、「東京2020オリンピック・セーリング競技大会」と「湘南藤沢市民マラソン」への招待に切り替えて実施する方向で、各都市との調整を進める予定である。	【実現度】 市民が自慢できるまちであること	3.43	
まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める												
(1) 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進												
73	公共施設再整備関係費	企画政策部	0	5,400	5,500	5,500	政策的事業費 平成29年度当初予算にて債務負担行為を設定。同年、公募型プロポーザルにより、事業者を選定。平成30年2月に藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業契約を締結。 平成30年度藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業施設整備モニタリング業務委託を締結、令和元年度は、藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業建設モニタリング業務委託を締結し、事業の進捗を図る。 令和2年度については、藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業の建設業務及び引渡、所有権移転に係るモニタリング業務委託を締結予定。	概ね計画どおり	当該事業は本年5月から旧施設（基礎・杭）の解体工事を行い、8月末に完了予定。10月から新築工事を着工する予定で、実施設計においては関係部署と調整し進めている。	【実現度】 公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか。	2.8	

【予算編成区分】
義務的事業費
重点化事業費（候補）
行革見直し事業費
経常的事業費
政策的事業費

【進捗状況】
概ね計画どおり
課題あり
困難

次期市政運営の総合指針策定に向けた長期課題調査表（2020年7月）

資料 3

〇〇〇〇部

NO.	2040年を見据えた長期課題 ※1 (想定される重要な課題の名称と内容)	2040年の望ましい姿 ※2 (現時点のイメージ)	次期市政運営の総合指針の期間 (2021年～2024年)に 重点的に取り組むべき施策・事業の内容 ※3	対応予算事業名	対応する課等
1	<p>(記入例) 認知症高齢者の増加への対応 高齢者の増加に伴い、認知症の人も大幅に増加することが予想される。認知症予防を推進するだけでなく、テクノロジーの力も積極的に活用し、認知症になっても安心してらせるまちへの転換を早期に進めることが重要な課題と捉えている。</p>	<p>(記入例) 認知症フレンドリーな藤沢の実現 ・認知症予防が市民に浸透しているまち ・認知症への正しい理解が広まり、偏見のないまち ・民間企業を含め、多様なセクターが、認知症の方に限らず、高齢者も、障がい者も、誰もが暮らしやすいまちとなるよう取り組んでいるまち(共生社会)</p>	<p>(記入例) 認知症関連施策の推進 〇〇や〇〇などの認知症施策に、重点的に取り組むとともに、認知症フレンドリーなまちへの転換を進めるため、今から〇〇などにも取り組む必要がある。 ・〇〇〇〇の見直し ・〇〇〇〇の改善 ・〇〇〇〇の新規取組について検討・実施</p>	<p>(現時点で、対応する事務事業があれば記入)</p>	<p>(想定される所管課があれば記入)</p>
2					
3					
4					
5					

※1 2019年7月に理事者ヒアリングを実施した「市政運営の総合指針策定に向けた中長期課題調査表」を参考にして、「人口構造の変化」や「財政負担の増加」、「公共施設等の老朽化」、「税収増加が見込めないこと」など、大変厳しい将来見通しを勘案して2040年を見据えた長期課題を記載してください。

※2 令和2年度施政方針に掲げる、今後4年間の市政運営のテーマ「サステナブル藤沢」「スマート藤沢」「インクルーシブ藤沢」の視点やSDGsの視点も取り入れて、望ましい未来の姿を検討し、現時点のイメージを記載してください。

※3 2040年の望ましい未来の姿と現状とのギャップを埋めるために、今から取り組むべき施策、見直すべき施策等を検討し記載してください。

政策・施策に関する評価について

1 基本方針に関する評価

平成29年度以降の市民意識調査では、おおむね実現度が向上しています。特に都市像に関する2つの指標については、着実に実現度が向上しており、総合的に一定の成果が見られております。

基本目標8項目に関する指標については、平成29年度から4つの項目において、標本誤差(±2.8%)以上に指標値が向上しています。また、これらの8項目には、指標値が大幅に低下している項目はありませんでした。今後も、総合的かつ基本的な方向性は維持しつつ、重点化する項目について精査する必要があります。

区分	都市像・基本目標	指標(アンケート内容)	H29年度 調査結果	H30年度 調査結果	R1年度 調査結果
都市像1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	75.4%	78.3%	79.6%
都市像2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	77.2%	78.7%	78.6%
基本目標1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	43.9%	52.8%	53.5%
基本目標2	文化・スポーツを盛んにする	地域の歴史や文化が継承されていること。	62.1%	60.7%	62.5%
基本目標3	豊かな環境をつくる	まちと自然環境との調和がとれていること。	72.4%	73.7%	71.3%
基本目標4	子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てられる環境があること。	71.5%	74.2%	72.8%
基本目標5	健康で安心な暮らしを支える	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	71.8%	74.4%	76.6%
基本目標6	地域経済を循環させる	産業の活力を高め、地域が元気になること。	44.7%	49.1%	46.6%
基本目標7	都市基盤を充実させる	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	53.9%	60.0%	58.4%
基本目標8	市民自治・地域づくりを進める	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	44.6%	48.7%	47.0%

※ 各年度の調査結果は、全体の回答から「わからない」等を除いたものに対する実現、満足(「よくできている」、「だいたいできている」)等のプラスの回答の割合です。

※ 標本誤差とは、標本調査は調査対象が無作為抽出となり調査結果が必ずしも全数調査の値とは一致せず、誤差がでることを指します。市民意識調査においては、全市分の調査に関して標本誤差を±2.8%として捉えています。

(1) 「めざす都市像」に関する指標

都市像に関する2指標のうち、都市像の1については、平成29年度と比べると指標値が向上しており、総合的な政策効果が優位であると推測されます。また、都市像の2についても、平成29年度以降の3年間は指標値が75パーセントを超えており、高い数値で安定しています。

(2) 基本目標に関する指標

基本目標に関する指標については、次のとおり推測されます。

ア 防災に関しては、平成30年度に指標値が大きく向上し、初めて50パーセントを超えました。また、令和元年度は大型台風（令和元年台風第19号）が発生した時期にアンケートを実施しましたが、指標値は前年から更に向上しています。地区別で比較をすると、南部地域よりも北部地域で評価が高い傾向にあります。

イ 文化・スポーツに関しては、指標値がおおむね横ばいの状況です。平成27年度に東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技会場に藤沢市が決定して以降、オリンピック・パラリンピックに関する文化芸術施策・事業に取り組んできましたが、その結果として、平成28年度に指標値が初めて50パーセントを超え、平成29年度にはさらに向上して60パーセントを超えています。以後2年間の数値は安定しています。

ウ 環境に関しては、平成29年度以降は指標値が70パーセントを超えて安定しています。年代別に比較すると、20歳代～40歳代の評価が高く、60歳代～80歳代以上の評価が低い傾向があります。地区ごとの評価では、湘南大庭地区、遠藤地区の評価が高い傾向にあります。

エ 子育てに関しては、平成29年度の調査ではじめて指標値が70パーセントを超え、その後2年間でも継続して70パーセントを超えています。また、年代別に経年での変化をみると、30歳代以降のすべての年代で、毎年「わからない」または「無回答」を選択する人数が減っており、子育てに関する情報が周知されていることが推察されます。

オ 医療、福祉等に関しては、指標値が高い水準で安定していることが特徴です。令和元年度調査では、50歳代、60歳代を除くすべての年代で、指標値が70パーセントを超えています。また、地域別で比較をすると、北部地域の数値が比較的低い状況にありますが、遠藤地区では平成30年度に前年度から約18ポイント増加して指標値70パーセントを超えて以降、高い数値で安定しています。

カ 産業・経済に関しては、平成29年度に指標値が初めて40パーセントを超えて以降、評価は安定しています。年代別で比較をすると、20～40歳代の評価が高い一方、すべての年代で「わからない」を選択する人が多く、特に20歳代は30パーセント超の人が「わからない」と回答しています。地区ごとの評価に大きな差はありませんが、令和元年度調査において片瀬地区では非実現度が50パーセントを超えています。

キ 都市基盤に関しては、指標値はこの3年間の経年でみると横ばい傾向ですが、今後は公共インフラの老朽化等の影響が想定されます。年代別で比較したときには、評価の差はあまりありません。地区別に比較をすると、南部地域については平成29年度以降の3年間で、地区ごとの評価の開きが小さくなっています。北部地域については地域ごとの評価に開きがある傾向があります。

ク 市民参加、市民活動関係に関しては、指標値は上昇傾向ではありますが、まだ実現度が50パーセントに達していません。年代別に比較すると、70歳代～80歳以上の評価が高い傾向があります。また、20歳～30歳代はそれぞれの全体のうち、30パーセント近くが「わからない」と回答をしています。地区ごとの評価には大きな差はないものの、北部の一部地域では評価が低い傾向があります。

2 重点方針に関する評価

重点方針のうち、重点施策に関する指標値の状況は別表のとおりです。

(1) 指標値の高いもの

令和元年度調査において、指標値が50%を超えているものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	H29年度 調査結果	H30年度 調査結果	R1年度 調査結果
重点 施策	危機管理対策の推進	消防や救急の活動が充実し、安心できると感じますか？	78.0%	84.8%	83.3%
重点 施策	防犯・交通安全対策の充実	犯罪のない安全なまちであると感じますか？	60.9%	64.2%	63.0%
重点 施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（カシ）の創出	歴史・文化など、豊かな地域の資源が継承されていると感じますか？	53.0%	48.0%	50.0%
重点 施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（カシ）の創出	市内の観光に活力があると感じますか？	58.6%	57.4%	57.7%
重点 施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（カシ）の創出	市民が自慢できるまちであると感じますか？	68.1%	72.2%	68.4%
重点 施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	食事や食生活を意識した学校生活がなされていると感じますか？	51.8%	57.4%	58.2%
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育など子育て支援が充実していると感じますか？	50.4%	54.3%	57.2%
重点 施策	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	子どもや若者が、住んでいる地域に誇りを持って暮らしていると感じますか？	62.9%	63.2%	63.5%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	50.3%	56.9%	52.8%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	受動喫煙のないまちであると感じますか？	—	52.1%	50.7%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	定期的に検診や健康チェックを受けやすい環境が整っていると感じますか？	—	78.8%	79.4%
重点 施策	誰もが移動しやすい交通体系の構築	交通が便利で移動しやすいと感じますか？	62.5%	63.9%	63.4%
重点 施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	82.4%	85.6%	79.8%

(2) 指標値の低いもの

令和元年度調査において、指標値が30%以下のものは、次表のとおりです。

指標値が低い要因は、事業成果そのものではなく、認知度、理解度、報道等の状況などに起因する点も多くあることを認識し、分析する必要があります。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	H29H年度調査結果	H30年度調査結果	R1年度調査結果
重点施策	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか？	10.1%	14.6%	25.8%
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	自然エネルギーが有効活用されていると感じますか？	17.8%	16.6%	14.8%
重点施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	新しい産業の立地が進んでいると感じますか？	21.4%	22.8%	19.8%
重点施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（イガシ）の創出	生涯学習の機会や場の提供について	19.3%	15.4%	19.4%
重点施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	個性豊かな児童生徒の育成について	15.3%	13.4%	14.0%
重点施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育園の待機児童の解消について	12.2%	15.6%	14.0%
重点施策	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	困難を抱える子ども・若者への支援について	10.4%	13.6%	11.8%
重点施策	多様な主体による支援の充実	高齢者の在宅・介護サービスについて	20.7%	22.5%	23.3%
重点施策	多様な主体による支援の充実	身近な地域における困りごとの相談の場や支援体制について	14.2%	16.2%	16.8%
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	市民主体のまちづくり活動について	20.9%	20.1%	19.7%
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	自治会・町内会の活動について	25.7%	25.0%	25.7%
重点施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	橋や下水道の老朽化対策について	14.7%	14.6%	13.3%
重点施策	誰もが移動しやすい交通体系の構築	道路や住宅の整備について	21.1%	21.4%	23.1%
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	美しい街並みなど、市内の景観づくりについて	24.9%	25.2%	26.2%

(3) 指標値が上昇したもの

令和元年度調査において、平成 29 年度調査から指標値が 5 ポイント以上上昇したものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標 (アンケート内容)	H29 年度 調査結果	H30 年度 調査結果	R1 年度 調査結果	H29 年度 との差
基本 目標	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	43.9%	52.8%	53.5%	9.6
重点 施策	危機管理対策の推進	消防や救急の活動が充実し、安心できると感じますか？	78.0%	84.8%	83.3%	5.3
重点 施策	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	2020 年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか？	10.1%	14.6%	25.8%	15.7
重点 施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	食事や食生活を意識した学校生活がなされていると感じますか？	51.8%	57.4%	58.2%	6.4
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育など子育て支援が充実していると感じますか？	50.4%	54.3%	57.2%	6.8
重点 施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	地域で支え合っていると感じますか？	37.0%	46.6%	43.3%	6.3

(4) 指標値が下降したもの

令和元年度調査において、平成 29 年度調査から 3 ポイント以上指標値が下降したものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標 (アンケート内容)	H29 年度 調査結果	H30 年度 調査結果	R1 年度 調査結果	H29 年度 との差
重点 施策	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援	ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか？	44.7%	43.4%	41.2%	-3.5
重点 施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力 (ガシ) の創出	歴史・文化など、豊かな地域の資源が継承されていると感じますか？	53.0%	48.0%	50.0%	-3.0
重点 施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	自然エネルギーが有効活用されていると感じますか？	17.8%	16.6%	14.8%	-3.0
重点 施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	市内の農水産業に活気があると感じますか？	45.0%	48.6%	41.1%	-3.9

3 全指標の集計結果（参考）

都市像・基本目標・重点施策に関する指標については、次のとおりです。

区分	都市像・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	H29年度 調査結果	H30年度 調査結果	R1年度 調査結果	H29年度 との差
都市 像1	郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うる わし 湘南の元気都 市～	誰もが快適に暮らせ、居心地 の良いまちであること。	75.4%	78.3%	79.6%	4.2
都市 像2	郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うる わし 湘南の元気都 市～	子どもが大人になっても愛 着の持てるまちであること。	77.2%	78.7%	78.6%	1.4
基本 目標 1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安な く暮らせるまちであること。	43.9%	52.8%	53.5%	9.6
基本 目標 2	文化・スポーツを盛ん にする	地域の歴史や文化が継承さ れていること。	62.1%	60.7%	62.5%	0.4
基本 目標 3	豊かな環境をつくる	まちと自然環境との調和が とれていること。	72.4%	73.7%	71.3%	-1.1
基本 目標 4	子どもたちを守り育 む	子どもを安心して育てられ る環境があること。	71.5%	74.2%	72.8%	1.3
基本 目標 5	健康で安心な暮らし を支える	保健、医療、福祉、健康など の生活環境が整い暮らしや すいこと。	71.8%	74.4%	76.6%	4.8
基本 目標 6	地域経済を循環させ る	産業の活力を高め、地域が元 気になること。	44.7%	49.1%	46.6%	1.9
基本 目標 7	都市基盤を充実する	移動や利用にあたり、誰でも 利用できる道路や施設であ ること。	53.9%	60.0%	58.4%	4.5
基本 目標 8	市民自治・地域づくり を進める	市民の意識が高く、市民参加 型の地域づくりが進んでい ること。	44.6%	48.7%	47.0%	2.4
重点 施策	災害対策の充実	地域で災害への備えができ ていると感じますか？	41.7%	44.7%	45.3%	3.6
重点 施策	危機管理対策の推進	消防や救急の活動が充実し、 安心できると感じますか？	78.0%	84.8%	83.3%	5.3

区分	都市像・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	H29年度調査結果	H30年度調査結果	R1年度調査結果	H29年度との差
重点施策	防犯・交通安全対策の充実	犯罪のない安全なまちであると感じますか？	60.9%	64.2%	63.0%	2.1
重点施策	市民参加型オリンピックの推進・パリンピックの支援	ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか？	44.7%	43.4%	41.2%	-3.5
重点施策	市民参加型オリンピックの推進・パリンピックの支援	2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか？	10.1%	14.6%	25.8%	15.7
重点施策	市民参加型オリンピックの推進・パリンピックの支援	スポーツ活動が充実していると感じますか？	48.6%	51.3%	49.7%	1.1
重点施策	オリンピック・パリンピックを契機とした都市の魅力（イガシ）の創出	歴史・文化など、豊かな地域の資源が継承されていると感じますか？	53.0%	48.0%	50.0%	-3.0
重点施策	オリンピック・パリンピックを契機とした都市の魅力（イガシ）の創出	市内の観光に活力があると感じますか？	58.6%	57.4%	57.7%	-0.9
重点施策	オリンピック・パリンピックを契機とした都市の魅力（イガシ）の創出	市内に文化的な魅力があると感じますか？	43.6%	41.6%	41.8%	-1.8
重点施策	オリンピック・パリンピックを契機とした都市の魅力（イガシ）の創出	市民が自慢できるまちであると感じますか？	68.1%	72.2%	68.4%	0.3
重点施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んであると感じますか？	37.8%	36.4%	37.4%	-0.4
重点施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	食事や食生活を意識した学校生活がなされていると感じますか？	51.8%	57.4%	58.2%	6.4
重点施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育など子育て支援が充実していると感じますか？	50.4%	54.3%	57.2%	6.8
重点施策	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	子どもや若者が、住んでいる地域に誇りを持って暮らしていると感じますか？	62.9%	63.2%	63.5%	0.6
重点施策	多様な主体による支援の充実	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていると感じますか？	45.6%	50.1%	47.3%	1.7
重点施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	50.3%	56.9%	52.8%	2.5

区分	都市像・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	H29年度調査結果	H30年度調査結果	R1年度調査結果	H29年度との差
重点施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	受動喫煙のないまちであると感じますか？	-	52.1%	50.7%	-
重点施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	定期的に検診や健康チェックを受けやすい環境が整っていると感じますか？	-	78.8%	79.4%	-
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	地域で支え合っていると感じますか？	37.0%	46.6%	43.3%	6.3
重点施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいると感じますか？	42.2%	46.8%	44.5%	2.3
重点施策	誰もが移動しやすい交通体系の構築	交通が便利で移動しやすいと感じますか？	62.5%	63.9%	63.4%	0.9
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	自然エネルギーが有効活用されていると感じますか？	17.8%	16.6%	14.8%	-3.0
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	82.4%	85.6%	79.8%	-2.6
重点施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	市内の工業に活気があると感じますか？	37.1%	44.1%	34.4%	-2.7
重点施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	市内の商業に活気があると感じますか？	42.3%	44.4%	46.5%	4.2
重点施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	市内の農水産業に活気があると感じますか？	45.0%	48.6%	41.1%	-3.9
重点施策	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備	新しい産業の立地が進んでいると感じますか？	21.4%	22.8%	19.8%	-1.6
重点施策	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（ガシ）の創出	生涯学習の機会や場の提供について	19.3%	15.4%	19.4%	0.1
重点施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	個性豊かな児童生徒の育成について	15.3%	13.4%	14.0%	-1.3
重点施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	安心して子育てができる環境づくりについて	32.6%	32.0%	31.9%	-0.7

区分	都市像・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	H29年度調査結果	H30年度調査結果	R1年度調査結果	H29年度との差
重点施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育園の待機児童の解消について	12.2%	15.6%	14.0%	1.8
重点施策	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	困難を抱える子ども・若者への支援について	10.4%	13.6%	11.8%	1.4
重点施策	多様な主体による支援の充実	高齢者の在宅・介護サービスについて	20.7%	22.5%	23.3%	2.6
重点施策	多様な主体による支援の充実	身近な地域における困りごとの相談の場や支援体制について	14.2%	16.2%	16.8%	2.6
重点施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	いつでも安心して受けられる医療の充実について	34.1%	39.0%	38.5%	4.4
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	市民主体のまちづくり活動について	20.9%	20.1%	19.7%	-1.2
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	自治会・町内会の活動について	25.7%	25.0%	25.7%	0.0
重点施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	橋や下水道の老朽化対策について	14.7%	14.6%	13.3%	-1.4
重点施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	駅をはじめとする拠点の整備について	30.6%	31.8%	32.6%	2.0
重点施策	誰もが移動しやすい交通体系の構築	道路や住宅の整備について	21.1%	21.4%	23.1%	2.0
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	美しい街並みなど、市内の景観づくりについて	24.9%	25.2%	26.2%	1.3
重点施策	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進	緑地や樹木などの緑の保全について	30.0%	28.5%	30.2%	0.2